

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報 2019年2月号

〔発行元〕岩手県赤十字血液センター献血推進課

〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6

TEL: 019-637-7201

CONTENTS

- ・第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト受賞作品が決定！
- ・アフラック岩手県アソシエイツ会様献血協力！
- ・バレンタイン献血キャンペーン2019開催しました！
- ・健康ミニ知識 vol.28 伝染性紅斑（りんご病）が増えています！

バレンタイン献血
キャンペーンの様子



2月2日（土）
イオンモール盛岡南

TOPICS

第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト受賞作品が決定！

日本赤十字社第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテストの県内受賞者が決定し、平成31年1月17日(木)に岩手県赤十字血液センター所長賞を進呈しました。

県内から応募のあった1,103句の中から所長賞を受賞されたのは、滝沢市立滝沢東小学校（今野洋明校長）6年生の四日市麗美さん。校長室で賞状を手にした四日市さんは、「選ばれると思っていなかったのが嬉しい！」と喜び、「お父さんがスーパーで献血するのを見ていた。病気の人は血が欲しいので、未来でも元気でいられるようにと思って応募した」と朗らかな笑顔で話してくれました。校長先生からの「内に秘めた想いが表れていて嬉しく感じています」との言葉に、満面の笑みの四日市さんでした。また県内では3校が団体賞を受賞されました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

県内の受賞は以下のとおりです。

○岩手県赤十字血液センター所長賞

『献血は 未来を架ける 橋わたし』（四日市麗美さん 小学生の部）

○団体賞

北上市立黒沢尻西小学校 一関市立東山中学校 岩手県立前沢高等学校（県内応募団体校11校）

全国からの応募総数13万句から審査員長の俳人・神野紗希さんによる最終審査を経て、厚生労働大臣賞、文部科学大臣賞、日本赤十字社社長賞、日本赤十字社血液事業本部長賞、けんけつちゃん特別賞、各都道府県所長賞、各都道府県団体賞が決定されています。



今野校長先生と担任の菅野健男先生から
祝福された四日市さん



アフラック岩手県アソシエイツ会様献血協力！

～アフラックのバレンタイン献血～

アフラックの販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会」様には、平成7年より2月にバレンタイン献血としてご協力をいただいております。1995年の阪神淡路大震災の支援活動として始まった同活動も今年25年目になります。アフラック岩手県アソシエイツ会様には、今年もご協力をいただいております。

もりおか献血ルームメルシー
morioka blood donation room



アフラック岩手県アソシエイツ会 献血参加カード	
献血の際に受付スタッフへお渡しください。	
お名前	
血液センター記入欄	平成 年 月 日
(バス・ルーム / PC・PPP・400mL・200mL)	
土、日、祝日は、選離する場合がありますので時間に余裕をもって ご協力をお願いいたします。	

参加期間は2月28日まで

冬場は、体調を崩す方も多く献血協力者が減少する傾向にあります。
このような時期の団体様のご協力に心より感謝申し上げます。
そして、これからもよろしくお願いいたします！



バレンタイン献血キャンペーン 2019 開催しました！

2月2日(土)～14日(木)まで、バレンタイン献血キャンペーン2019を開催しました。このキャンペーンは冬季における血液の安定供給と若年層への献血の理解と協力を促すことを目的として行っており、今年で29回目となります。キャンペーン期間中は、ライオンズクラブ国際協会332-B地区、赤十字奉仕団、盛岡市保健推進員、岩手教区献血たすけあいの会、三ヶ尻自治会連合会などのボランティアの方々のご協力をいただき、400mL献血1,251名、200mL献血96名、成分献血518名の献血協力が得られました。ボランティアの方々、献血していただいた方々、ご協力ありがとうございました。



健康ミニ知識 vol.28 伝染性紅斑（りんご病）が増えています！

厚生労働省によると、全国の指定された医療機関での伝染性紅斑の報告数は増加しており、過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっているそうです。都道府県別では、宮城県、新潟県、山形県が上位3県を占めています。（2019/1/14～1/20届出）

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19というウイルスによっておこる感染症で10～20日の潜伏期間のあと、両頬に紅い発疹や手足にレース状の発疹がでることがあり、「りんご病」とも呼ばれています。小児にみられることが多く、ほとんどは軽症で自然に治りますが、関節炎がみられたり、妊婦が感染すると、胎児の異常（胎児水腫）や流産になることがあるので注意が必要です。感染経路は、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染です。伝染性紅斑に対するワクチンがないため、予防には、手洗いや咳エチケットを心がけてください。



両側の頬に出現した
蝶翼状の発疹



上肢伸側に出現した発疹

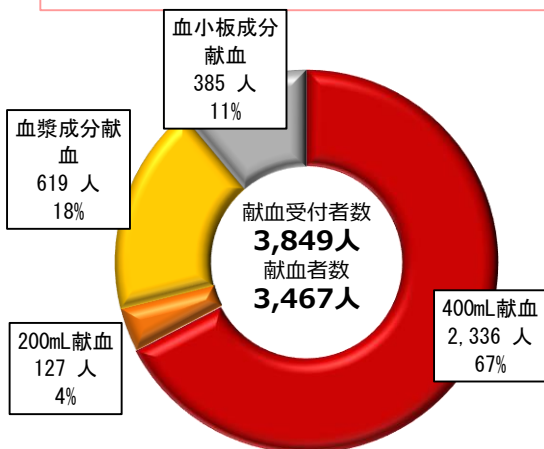
＜献血について＞ 伝染性紅斑にかかった場合、治癒後6ヶ月間は献血をご遠慮ください。
家族に伝染性紅斑にかかった方がいた場合、1ヶ月間は献血をご遠慮ください。

感染症発生動向調査週報 厚生労働省／国立感染症研究所（IDWR Vol.379 2019/1/25発行）および、国立感染症研究所ホームページ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html> より引用、加筆修正。

Data

岩手県の献血・供給状況（1月）

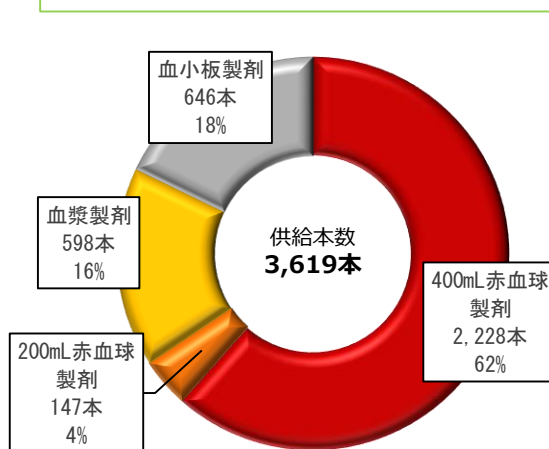
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**4,799本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**94.8%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

岩手県赤十字血液センターホームページ

<https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

岩手県赤十字血液センター